# 静岡空港アクセス道路の舗装施工において

(社)静岡県土木施工管理技士会 株式会社 橋 本 組 土木部 次長 秋 山 充 彦 Mitsuhiko Akiyama

### 1・はじめに

静岡空港開港に向けて、アクセス道路の施工に 携わりました。

ここの地山は雨に溶けやすい性質があります。

舗装に先立ち、基礎路盤の施工に雨天の悪影響対策が課題となりました。

工事概要

(1)工事名 : 平成18年度静岡空港アクセス道路計画整備工事

(本体内アクセス道路舗装新設その2)

(2)発注者 静岡県静岡空港建設事務所

(3)元請 株式会社 橋本組

(4)工事場所:静岡県牧之原市坂口地内

(5) 工期 平成18年9月30日~平成19年8月31日



今回の施工写真(当工事は道路掘削から基層工まで)

#### 2・問題点と調査

静岡空港アクセス道路計画整備工事(本体内アクセス道路舗装新設その2)において 当工事区間の地山は、スレーキング率95%以上の軟岩です。 そこで、軟岩のスレーキング状態(進行度合い)を検証し切土部の掘削施工方法の検討を行いました。 現場におけるスレーキング程度(進行状態)を指標で表す試験はないため、 簡易貫入試験を用い貫入量によりスレーキング状態を表現することとしました。

現地試験状況



## 3・対策と工夫

検証は現場内に試験ヤードを設けて実施しました。また、過去の知見等よりスレーキング遅延対策として 軟岩の表面をアスファルト乳剤でシールコートする方法が紹介されており、併せて検証することとしました。 試験結果より、軟岩の表面に高浸透性乳剤(PK-P)(1.5k½/m²)によるシールコートが スレーキング遅延効果に有効であることがわかりました。 ただし、 その効果は、時間10mmを超えるような、まとまった降雨があると薄れるようであります。 また貫入量は概ね2.0cm~3.0cmであることから、軟岩がスレーキングを起こさないように対処するには 現場施工時における掘削作業は3日間程度として、 その後、軟岩表面をしっかりシールコートする作業工程を組む事が望ましいと考え、施工しました。



高浸透性乳剤散布状況

施工ロット割り検討図 右図は下層路盤まで

			-						
1111	+01		MICH.	11.000	21111	-0		16.1.0	7.59
6.165				Baditis.	8130				36, 255
			100					10	
		FARME					FRIEN.		
		- 20a	-;						
40.22									
:##	-		NIA.	t ea	411111	-		KIN	2.00
14.189				B-, 171	0-,100				No. 1/25
	1//22	100		W-112	41,114	-254	16733	95	PR. 110
	00070	20.00				A-KBI Medical	5-83-	*	
	and the last	THEMP					F2167		
	1.0 M	100				LAN		MM	
nn			NC.	make .	sun.			16.134	
			No. of Street,					78.2.8	
No. 181				8+,173	81-318				No. 215
	7800						THUN		
	11142								
	1.0 P.	-	ini			22%	no		
THH	-04		No.	17,916	*****	-0		161.0	17.69
N-189				31.01	81-359				34-25
	7848						THER		
	FA-149						49364		
	1-17. U-Au-t						THEN		

施工ロット部が概念図

#### 4・おわりに

計画は立ててみたものの、やはり気象が品質を左右します。 週間予報だけでなく、気圧配置から自分なりに予測してしまうほど神経質になりました。 悪影響が出るほどの降雨もなく、ほぼ施エロット計画どおり無事完了することが出来ましたが、 それでも心情的には、基層の施工が完了するまで緊張しました。 静岡空港には3年携わりましたが、印象の深い現場であります。